

老いの科学

～動物モデルを用いたアプローチ～



私たちが年をとっても健やかに過ごすためのヒントが動物に隠されています。最新の研究からわかったことをわかりやすくご紹介します。

2017.8.23 WED

13:00-16:00

@ 東京大学農学部弥生講堂一条ホール
(東京メトロ南北線東大前駅徒歩1分)

主催：農学生命科学研究科 食と生体機能モデル学講座
連絡先：伊藤公一（食と生体機能モデル学講座・特任准教授）
mail：akoito@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

入場料
無料

先着 300 名



加齢動物の記憶・学習メカニズム

伊藤 公一（東京大学大学院農学生命科学研究科食と生体機能モデル学講座 特任准教授）



ヒトアミロイドβ過剰発現マウスを用いたアルツハイマー病の解明

木村 良一（山口東京理科大学共通教育センター 准教授）



血管老化からわかるフレイルのドミノ現象

孫 輔卿（東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教）



アミノ酸と脂肪の意外な関係

山中 大介（東京大学大学院農学生命科学研究科食と生体機能モデル学講座 特任助教）



乳牛における蹄と繁殖の関係性

菊池 允人（千葉県農業共済組合連合会 西部家畜診療所）